

熱中症のおそれのある者に対する処置 フロー図

熱中症のおそれのある者を発見



作業離脱、身体冷却

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣 等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

異常等あり

意識の異常等

異常等なし

救急隊要請

できない

自力での水分摂取



できる

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。
(単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する)

医療機関への搬送

回復

経過観察

回復しない、症状悪化

回復

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

「意識の有無」だけで判断するのではなく、

①返事がおかしい

②ぼーっとしている

など、普段と様子がおかしい場合も

異常等ありとして取り扱うことが適当。

判断に迷う場合は、安易な判断は避け、#7119等を活用するなど専門機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐこと。

緊急連絡先：

電話番号：

緊急搬送先：

電話番号：

所在地：

熱中症のおそれのある者に対する処置 フロー図

熱中症のおそれのある者を発見

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣 等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

①返事がおかしい

②ぼーっとしている など、
普段と様子がおかしい場合も、熱中症のおそれ
ありとして取り扱うことが適當。

作業離脱、身体冷却

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。
（単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する）

医療機関への搬送

医療機関への搬送に際しては、必要に応じて、救急隊を要請すること。
救急隊を要請すべきか判断に迷う場合は、#7119等を活用するなど、専門機関や医療機関に相談し、専門家の指示を仰ぐことも考えられる。

回復

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

緊急連絡先：

電話番号：

緊急搬送先：

電話番号：

所在地：